

2007年度雪氷防災研究センター 一般公開ハイライト

雪氷防災研究センター(新潟県長岡市)の2007年度一般公開で行われた研究と雪氷現象の紹介、科学の実験から、写真だけですが、よりすぐってご紹介します。ご興味をお持ちの方はぜひ次回の一般公開にお越し下さい。また、[講座や積雪観測実習](#)、および[講演会、シンポジウム](#)も開催しています。お問い合わせは[雪氷防災研究センター](#)まで。

では、順路に沿ってご紹介しますので、どうぞご覧下さい。



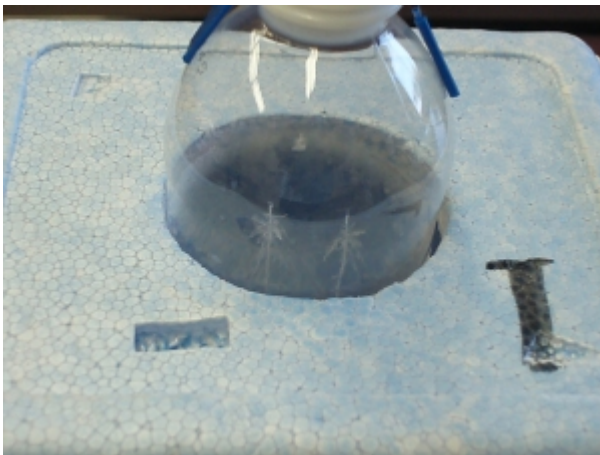
まずは展示室で雪崩（なだれ）の特徴の説明です。



模擬雪崩の実験によって、その特徴が実際に示されます。



次に、人工雪の結晶を作ります。ドライアイスを使うので手袋を用意しています。



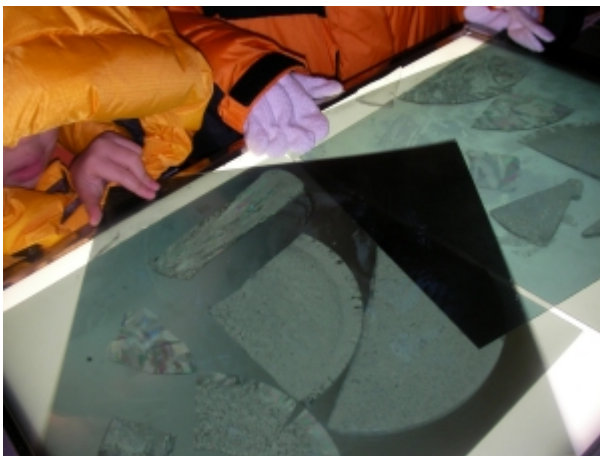
30分くらいで人工雪の結晶ができてきました。



モールド（型）を使って六花（ろっか）の形をした氷を作ります。



-20℃の部屋でシャボン玉を作ると、どうなるでしょう？



薄く切った氷の結晶の観察です。ひとつひとつずいぶん模様が違うようですね。



-5℃の部屋で、過冷却水の実験。演じているのは過冷却マエストロのKさん。



これどうなるのかな〜。



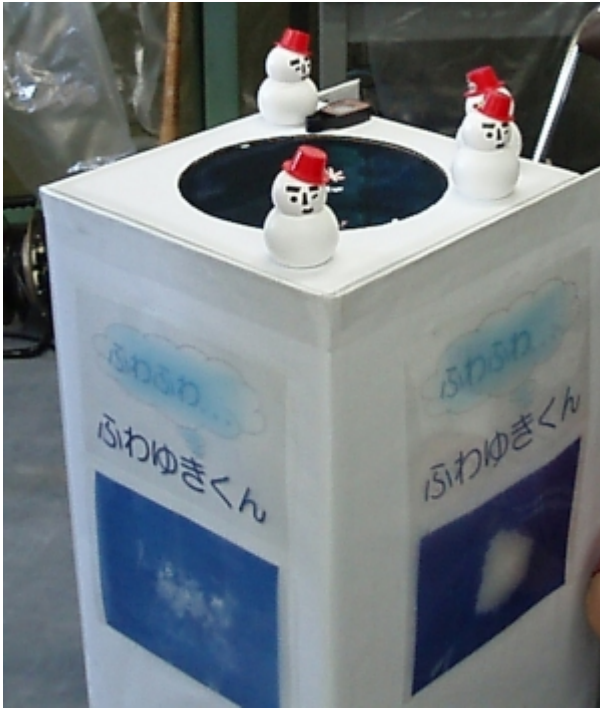
こちらは人工霜柱（しもばしら）です。



-20℃の部屋です。“樹氷”も自然と同じようにして作ることができます。なぜこうなるかわかりますか？



降雪粒子の観測施設です。雪片やあられひとつひとつの大きさと落下速度を測れます。



さてこれはなんでしょう？



紙の雪がふわふわと・・・。



実物大で作られた冬季最大積雪深のグラフ。5m以上も登って作るんです。左上奥に見えるのは降雪観測レーダーです。



お疲れさまでした。最後に積雪気象観測の説明をしています。いろいろな測定機器で多くの観測をしています。これらの機器は公開日にも動いています。